

国際脂質生化学会(ICBL)でのポスター発表

フランスのシャモニーにて 2016 年 9 月 4 日から 8 日まで開催された、第 57 回国際脂質生化学会 (ICBL: International Conference on the Bioscience of Lipids)に参加し、ポスター発表を行った。ICBL は、年一回おもにヨーロッパにて開催される。今年の開催地であったシャモニーは、モンブランの麓にあり、登山とスキーのリゾート地として有名な地である。

ICBL には、脂質研究に携わる世界中の研究が集う。比較的小規模な学会であり、発表内容に対するディスカッションは非常に活発であった。特に、ポスターは開催期間中掲示され続けたので、発表内容を理解しやすく質問もしやすかった。今回私は、「FOXO1 induced atrophy changes in phospholipid profiles of skeletal muscle」という題目でポスター発表を行った。これは、骨格筋の萎縮時に生じるリン脂質分子種の変化とその機序に関する研究の報告である。発表の際には、他の研究者から、自分の研究内容に興味をもたれたり、アドバイスを頂いたりすることができた。これらの経験は、研究を進める上で大きな励みになると感じた。また同時に、他の研究者に自分の考えを正確に伝えるためには、英語での会話力をさらに身につけるべきであることも実感した。

食品栄養科学専攻 栄養化学研究室
博士課程1年 妹尾奈波

